

学校だより

茅野市立
東部中学校



信頼を築く 学校

令和4年度 No.10 文責 演
発行日 10月14日(金)

第37回 八ヶ嶺祭

煌(きらめく)～籠めろ魂！輝く才能！築け新たな伝説を～

9月30日に第37回 八ヶ嶺祭が開催されました。



この日のために、長い時間をかけ、様々な準備を全校生徒が積み重ねてきました。その中でも、生徒会役員のみなさんは、1学期から、そして夏休みも、八ヶ嶺祭がよりよいものになるように活動を進めてきました。そんな生徒会役員のみなさん、そして最高学年である3年生のみなさんの素晴らしいリーダーシップの下、全校生徒が係活動、展示やステージ発表、企画の準備等々に一生懸命取り組み、素晴らしい八ヶ嶺祭を創り上げてくれました。

昨年度に引き続き、まだまだコロナの影響があり、様々な制限や配慮事項もあり、企画段階から相当頭を悩ませたことも多くあったかと思えます。しかし、その様な中でも、文化祭実行委員長がパンフレットに寄せた、

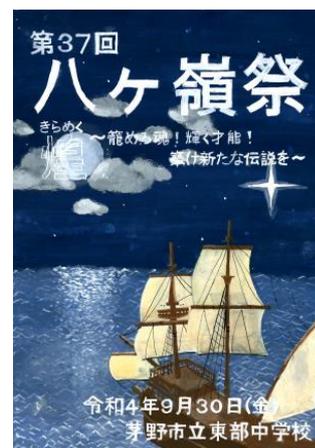
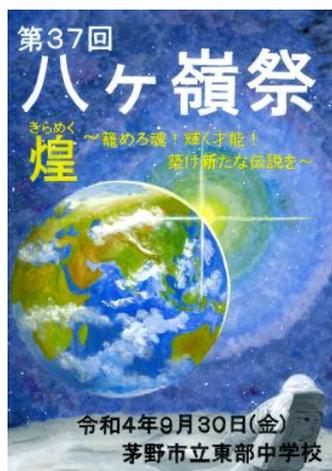
前年度のように活動に制限がかかっていることが多くあります。ですが「コロナ禍だからできること」そして「今年だからできること」もたくさんあると思えます。私は役員の人がこの状況でも企画ができるように、多くの工夫を凝らしている姿を見てきました。

という文章にあるように、「この状況に負けない」、「だからこそ、より良いものを創り上げよう」という、思いが、この八ヶ嶺祭には籠められていました。

八ヶ嶺祭当日は、生徒会長がパンフレットに寄せた、

八ヶ嶺祭では、文化部の発表、生徒会企画、クラス展示など、全校のみなさん一人一人が輝ける場面がたくさんあります。その様な場面で、いつも努力している成果が十分に発揮できるようになることを願っています。そして、個性を知ることで、笑顔が生まれてほしいと思えます。

という言葉にあるように、輝きと笑顔があふれる場面がたくさんある八ヶ嶺祭となりました。



ポスター

ステージバック

パンフレット



「人権ディスカッション」では、「ちがひ」をテーマに小グループで話し合いを行い、その後話し合った内容を発表しました。見学に来ていた小学6年生も発言をしてくれ、みんなで大切なことについて考え合うことができました。その後の「ありがとうタイム」は、普段伝えられていない「ありがとう」を伝え合うという内容で、温かい時間となりました。



家庭科部は、これまで時間をかけて制作をしてきた浴衣や洋装を身に付けてのファッションショーを披露してくれました。ご指導いただいた地域講師の宮下先生にもステージに上がっていただき、感謝の思いをお伝えできました。技術部は、楽しい映像作品を披露してくれました。これからある「ロボコン」頑張ってくださいね。



展示見学では、各クラスや部活動がそれぞれに工夫を凝らした作品を見学しました。力作が多く、見学の時間が足りないと感じるほどでした。来校した小学6年生にも展示を見てもらいました。来年度の入学に向けて、中学校生活について、より具体的なイメージができたかと思えます。



圧巻の吹奏楽部の演奏でした。様々な曲を聴かせていただき、特に南信大会金賞曲は、見事！の一言でした。アンコールにも応えてくれ、学校全体で、音楽の素晴らしい世界に浸ることができました。



日頃から努力を積み重ねている生徒の姿を披露する機会として用意された「スペシャルステージ」。太鼓、ダンス、マジック、少林寺拳法、ピアノ演奏、空手と、本当に素晴らしい姿を披露してくれました。



楽しい時間はあっという間に過ぎ、エンディングを迎えました。閉祭が宣言をされ、今年度のハケ嶺祭が幕を閉じました。これだけの文化祭を創り上げられたことを、全校生徒で大切に、残り半分となった今年度の生活の中で、更に一人一人が煌めく、そんな生活を送っていきましょう。



その全てを紹介はできませんが、全校生徒がそれぞれに、ハケ嶺祭成功のために様々な準備、努力を積み重ねました。スポットライトを浴びることのない、多くの陰の努力があったからこそ、この素晴らしいハケ嶺祭が行えたことを、ハケ嶺祭本番の成功と共に大切に大切にしていきたいと思います。

前号では、1 学期終業式の生徒代表の言葉を載せましたが、今回は、2学期の始業式に行われたの各学年の代表者による意見発表を載せます。

1 年代表 S T さん

二学期に少しでも成長するために

僕は一学期の反省をもとに二学期頑張りたいことを三つ考えてきました。

一つ目は、メリハリです。一学期は休み時間の元気なテンションのまま授業に入ってしまうことがありました。元気なのはよかったけれど、その元気が「うるさい」というよくないものになってしまうことがありました。東部中学校では二分前着席が当たり前ものとなっています。二学期は、二分前には着席し、一分前には落ち着いて授業を始められるように準備をしていきたいと思ひます。

二つ目は、「時間を見て、慌てず素早く」です。一学期、時間を見ておらず、移動教室のときなどに慌てて移動することがありました。慌てることはよくないけど、素早く行動することは大事なことだと思います。なので、二学期は、時計を見て、慌てず素早く移動できるようにしたいです。

三つ目は、クラスへの貢献です。僕たちのクラスでは、小さな目標を立てて、帰り学活の時間にその目標が達成できたか確認しています。目標の中に「いただきますは授業終了から十分以内」という目標があります。でも、僕は給食当番の人が休んでいるとき、進んで給食当番を代わってあげようと行動することができませんでした。その結果、十分以内にいただきますができなくなってしまうこともありました。だから二学期は、やれることがあったら進んでやって、クラスに貢献していきたいです。

そして、二学期は文化祭や音楽会があります。文化祭では、委員会としてもうやり始めていることや、これからやらなければいけないことがあると思ひますが、初めての文化祭を思いっきり楽しめたらいいと思ひます。

音楽会では、授業中のパート練習などをしっかり集中してやりたいと思ひます。そして、その練習の成果を本番で出し、自分たちが満足できる音楽会にしていきたいです。

また、二学期は、一番長い学期です。そのため、二学期が始まったばかりの頃は、集中して学校生活を送っていたとしても、どこかで気が緩んでしまうことがあると思ひます。この様なときには、気持ちをリセット

して初心に戻り、また集中して学校生活を送れば良いと思います。

今話した、二学期頑張りたいことを日々頭の中に入れておきながら生活していきます。そして、未熟な「一年生」から、素敵な先輩方のような姿に少しでも近づくことができるようがんばります。

二年代表 O M さん

二学期で頑張りたいこと

夏休みが明けて、二学期が始まります。そこで、一学期の反省をふまえて、二学期頑張りたいことが二つあります。

一つ目は、人に伝わるようなあいさつをすることです。緊張すると、声が小さくなってしまったりがありました。そのため、自分があいさつをしたつもりになっただけで、実は相手に伝わっていないということが数回ありました。ですから、二学期は大きな声で相手に伝わる、良いあいさつを心がけたいです。

二つ目は、発言です。一学期は、自分から手を挙げて発言することができませんでした。先生に指名されて発言することはありましたが、「答えがあっているのか不安」と思い、なかなか手を挙げることができませんでした。友達の考えを聞くだけでなく、自分の考えを少しでも発信したいです。ですから、一学期より多く発言するよう頑張りたいです。

最後にもう一つ、意識したいことがあります。他者意識です。自分がした行動が誰かのことを思っていたことなのかをよく考えて生活を送りたいです。また、クラスの隙間を埋めるために自分から考えて行動し、クラスをより良くしていきたいです。

二学期には様々な行事があり、学級皆で取り組んでいくことがたくさんあると思います。ですから、学級の皆と協力し、学級に貢献できるように自分から考えて行動していきたいです。

三年代表 M A さん

一学期の反省と二学期の抱負

私は一学期、部活や生徒会を言い訳にして、あまり多く勉強ができませんでした。その反省を活かして二学期は次の四つのことを頑張りたいです。

一つ目は規則正しい生活です。一学期はやるべきことを後回しにしたり、だらだらと時間をかけたりしてしまいました。その結果、寝る時間が遅くなったり、早起きができなかったり、学校で眠くなったりすることが多くありました。優先順位をつけ、一つひとつのことを集中して終わらせ、生活リズムを整えたいです。

二つ目は人への感謝です。最近、自分が人に「ありがとうございます」と言わなくなってきたと感じます。先生に質問をしたとき、友達に助けてもらったときに「お願いします」や「分かりました」で終わりにしてしまっています。その人の労力や時間をもらっているのに、いつでもありがたいの気持ちを忘れず、伝えられるようにしていきたいです。

三つ目は生徒会です。二学期には文化祭の他にも図書委員会の企画がいくつもあります。その一つひとつを丁寧に行っていきたいです。そして、準備と確認をたくさんして、楽しい文化祭や企画にしたいです。

四つ目は勉強です。一学期は時間を上手に使うことができず、あまり勉強ができませんでした。その結果、テストの点数も落ちてしまいました。同じことをあと五回繰り返したらもう受験です。後で後悔しないためにも、今、様々なことを改善し、努力して、悔いのない形で二学期を終われるようにしたいです。

最後に、私はいつも口だけでなかなか自分の言ったことを達成することができません。この二学期こそ、言ったことを達成したいです。

1学期の反省、振り返りを基に、しっかりとそれぞれの決意が語られています。大変的確で、具体的に語られている点が素晴らしいと感じます。2学期が始まって2か月が過ぎようとしています。全校のみなさんは、それぞれ2学期の自分の目標を立ててこの2学期をスタートしています。少し時間が経ったところで、ちょっと立ち止まって、ここまでの自分のがんばりとこれからに生かせる課題を明確にしてみることも大切ですね。先日の文化祭もそうですが、自分の目標ややることがはっきりしているとやはり、充実した成果が得られますね。がんばっていきましょう。

学校に関わることで何かございましたら、お気軽に学校までご連絡をお願いします。また、生徒の健康に関すること、スクールソーシャルワーカー (SSW)、スクールカウンセラー (SC) への相談等ご希望につきましても、学校までご連絡をお願いします。また、「育ちあいちの」へ相談は随時行えます。ぜひ、ご利用ください。

茅野市立東部中学校
濱 喜一郎(校長)
〒391-0011 茅野市玉川 10030
電話 79-5050 Fax 79-5242